

様式第1号（閲覧規程第2条）

平成30年3月31日

宮古市議会議長 前川昌登様

宮古市議会議員 白石雅一



平成29年度宮古市議会政務活動費収支報告書

宮古市議会政務活動費の交付に関する条例第5条の規定により、平成29年度の政務活動費の収支を別紙のとおり提出します。



別紙

1 収入

政務活動費 150,000円

2 支出

(単位：円)

科目	金額	備考
研究研修費	—	
調査旅費	—	
資料作成費	—	
資料購入費	8,400	購読料（社会新報 2017.4月～2018.3月分）
広報費	148,000	印刷代（白石まさかず活動報告書）
広聴費	—	
その他の経費	—	
合計	156,400	

注：備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。

3 残額 一 円

## 宮古市議会政務活動費支払明細書

項目	内容	金額	摘要
資料購入費	(1) 購読料 (社会新報 2017.4月~2018.3月分)	8,400 円	700円×12
	計	8,400 円	
広報費	(1) 印刷代 (白石まさかず活動報告書)	148,000 円	
	計	148,000 円	
合 計		156,400 円	

項目

資料購入費

1の1枚目

(1) 購読料 (社会新報 2017.4月~2018.3月分)

領収書等貼付欄

社会新報

No. 領収証

白石雅一様

ご購入ありがとうございます

¥8,400-

社会新報	17.4~	18.3	月分	¥8,400-
月刊社会民主			月分	¥
			月分	¥

上記代金として領収致しました

社会民主党機関紙宣伝局 2018年3月20日

分局名

宮古総分局

項目

広報費

1の1枚目

(1) 印刷代 (白石まさかず活動報告書)

領収書等貼付欄

領 収 書

No.1156

発行日

2018年3月28日

白石 雅一 様

下記、正に領収いたしました。

金額: ¥148,000

但 白石まさかず活動報告書印刷代5,000部

東屋松風

代表 成田 よしお (成田宣央)

〒027-0038

岩手県宮古市小山田3-7-1

TEL : 090-5529-9829



平成29年度

# 白石まさかず活動報告

・発行日  
平成30年3月

・発行者  
白石雅一

・発行住所  
宮古市津軽石  
10-21-2

・電話番号  
070-4006-5021

## ご挨拶

津軽石、赤前をはじめ、宮古市の皆様、いつも大変お世話になっております。

昨年に引き続き、今年も平成29年度の「白石まさかず活動報告」を発行させて頂く運びとなりました。

私、白石雅一は若輩者ながら平成26年5月より、宮古市議会議員に押し上げて頂き、微力ではございますが、市政運営に関わらせて頂いております。

任期満了が近づいておりますので、今回は今までの活動の総括報告として、あげさせて頂きます。

駄文ではございますが、ご一読頂ければ幸いです。



# 青年 情熱 可能性

## 平成29年度 9月定例会

▼①公益活動の為の新たな拠点施設について 答弁・山本市長

問 松山地区に移転新築を計画している、神林の宮古警察署の既存施設を、NPOなどの各団体が行う公益活動の拠点として、利活用する必要があると思うがどうか。

答 宮古警察署の施設等の利活用については、市の公共施設として、地域振興に資する多様な活用が考えられる。ご提言内容を含め、一体的に検討を進める。

### この質問の背景

震災後、NPOやボランティアの多くの方々が宮古にいらつしやいました。その中には復興支援のため、継続して活動を行っている団体もあります。しかし市内にはこれら団体が安価で泊まれ、自由に使える活動拠点が少ないのではないのでしょうか。

毎年夏休みに子どもたちへボランティア支援に来てくれる学生方は、現在も体育館で寝泊まりしている実態もあるのです。これらのことから、道場があり、宿泊もできる旧宮古警察署が、新たな公益活動の拠点となるのではないかと思ひ、質問いたしました。

現在、宮古警察署は松山地区へ移転し、神林の旧宮古警察署はその利活用にと、宮古市が県に対して手を上げています。

▼②三陸沿岸道路完成を見据えた休憩施設整備について

答弁・山本市長

問 宮古南インターチェンジがある金浜付近に、ドライバーらの休憩所となるような施設を設置するべきと思うがどうか。

答 三陸沿岸道路利用者の動向等を注視していく。

### この質問の背景

整備が進む三陸沿岸道路だが、この道路にはトイレや休憩場は無く、休憩のためには各所に設置されたICから一度おりなければならぬ。宮古市の北の玄関口とも言える田老第1IC予定付近には道の駅たろうを設置しているが、南の玄関口となる宮古南IC付近には道の駅のような施設はない。自分は南側から来る観光客の増進及び、重茂方面の車利用者のためにも休憩施設が必要ではないかと考え、質問させて頂きました。

平成29年11月に、津軽石―山田間の道路が完成したこともあり、引き続き市に、その必要性を訴えてまいります。

## 平成29年度 12月定例会

▼①子どもの健康増進に食育を通し対策を 答弁・伊藤教育長

問 平成31年度からの第3次計画策定では、子どもたちの健康増進のため、より食育を通じての対策を家庭とともに進めたいと思うがどうか。

答 計画策定に当たっては子どもたちの健康増進を図るため、小児科医師会をはじめとした関係機関及び保護者の皆さんと意見交換を行うなど連携を密にし、肥満対策を含めた乳幼児期及び学童期の食育指導に取り組む。

### この質問の背景

宮古市は全国平均に比べ、肥満傾向児の割合が高く、平成28年度では全国平均の15%に対し20%と、岩手県だけ見ても肥満傾向児の割合は高い。肥満対策の一環として、学校では運動を推進しているが、より一層の子どもたちの健康促進のために、幼少期からの長い目でみた食育を通しての対策が必要と考え質問しました。

現在、「第3次宮古市食育推進計画」を策定するところで、アンケート調査の実施をおこなっているところです。



※神林の旧宮古警察署



※金浜宮古南インターチェンジ

## 平成30年度事業ピックアップ

平成30年度予算に基づき、気になった事業を解説します。

平成30年 6月22日(金) 就航  
宮古・室蘭フェリー関係

平成30年度はフェリー就航の年ということもあり、様々な事業が行われる予定です。主な事業としては、6月22日の宮古港第1便・出港う見送り式、ターミナル壁紙除幕式、宮古・室蘭交流物産展と水素自動車「みらい」の展示・試乗などが行われます。

その他にも宮蘭フェリー就航記念市民号運行補助・宮蘭商談会開催費用補助、中学生の室蘭市交流事業なども予定されており、産業だけでは無く、教育の分野でもその盛り上がりを見せています。

予算額 2612万1千円



※就航するシルバークイーン



※室蘭市のチキウ岬灯台

浄土ヶ浜に新しい駐車場が出来ます  
浄土ヶ浜地区環境整備事業

浄土ヶ浜第四駐車場が新しく、日立浜町地内・元漁民住宅敷地に出来ます。収容台数約100台を想定しており、これから基本設計が始まります。

この事業により震災で減少していた駐車スペースが解消されるそうです。

予算額 336万円

廻来船誘致のための新たな政策です  
廻来船誘致対策事業

宮古市魚市場の水揚量は昭和59年の約13.4万トン。ピークに平成28年度は過去最低の2.3万トンまで減少しています。しかも魚価単価の上昇、近年の品薄高値相場による買受力の低下など、更なる水揚量減少の悪循環に陥ることが危惧されています。

このことから、今までの廻来船に対しての氷代助成だけでは無く、買受人に対しても同様の支援を行い、魚価の安定を図ります。

この事業は一定期間継続して行わないと効果は出ないのではないかと、意見もあり、検証に時間を有します。

予算額 1250万円



**新たな産業の担い手を育成する様々な事業です  
第一次産業新規就業対策事業**

宮古市では第一次産業の担い手育成のため、様々な政策を取っています。これら政策に新たにテコ入れされた部分があります。

まず、新規就農希望者の研修支援事業に、今まで月額5万円であった助成金が、月額12万5千円にアップします。また住居費の補助も月額上限2万円から3万円にアップとなり、より就農者に寄り添ったものとなります。

また、林業・養殖漁業・漁船漁業に就業を希望する方に対しても、同様の支援が受けられるようになります。

次に宮古市新規学卒者及びU・イーターン者等就業奨励金です。これは、新規学卒者（中卒・高卒・短大・大卒・専門学校等）及びU・イーターン者が宮古市内事業所に12ヶ月間以上継続雇用された場合、一回限り、10万円の交付を受けれるものです。

三つ目は宮古市高齢者雇用奨励金です。これは65歳以上の高齢者を12ヶ月以上継続雇用した場合、事業主に対して、高齢者一人につき10万円を交付するものです。

最後は宮古市産業振興補助金です。これは今で50万円であった補助金上限額を、100万円に上げるものです。

その他にも多様な支援策をおこなっており、これらの制度を活用し、一人でも多くの方にその恩恵を受けて頂ければと思います。

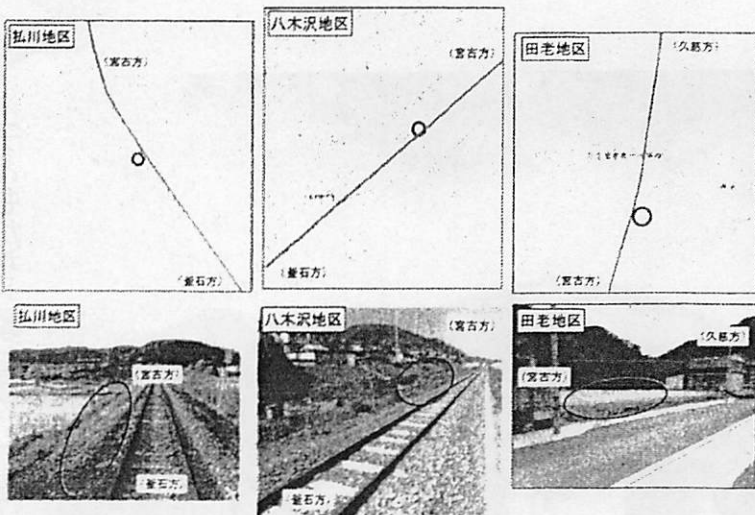
予算額 1765万5千円

**新駅の整備がついに始まります  
新駅整備事業**

三陸鉄道が宮古・釜石間の運行開始日を来年3月23日と発表しました。これにより、リアス線は一本の道となり久慈・盛岡、163キロの第三セクター鉄道の国内最長路線が誕生することとなりました。

宮古市では新駅設置事業として、新田老駅（愛称・真崎の紺青）宮古短大駅（愛称・八木沢川のせせらぎ）弘川駅（愛称・新たな希望）の3つの駅の整備を行います。

予算額5億円



※今回整備される新駅設置箇所。

左から弘川駅、宮古短大駅、新田老駅。